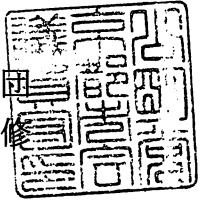


平成 27 年 11 月 20 日

京都市長
門川 大作 様

公明党京都市会議員団
団長 曾我 修



青少年の薬物乱用防止対策に関する緊急要望

近年、青少年による薬物のまん延が懸念される中、京都市においても小学 6 年の男児のほか、高校生による大麻をめぐる事件が相次いでいる。スマートフォンの普及で安易に薬物に近づく若者たちを取り巻く状況は憂慮すべき情勢にあり、生活環境の改善や、徹底した乱用防止教育が急務となっている。

全国的に未成年者の大麻汚染をめぐる検挙数が増加傾向にある中、本市においては、市教育委員会及び京都府・府教育委員会・京都府警など関係機関との連携を強化し、青少年を中心に広がりをもせる薬物乱用の実態把握に努め、次の対策を講じられるよう強く要望する。

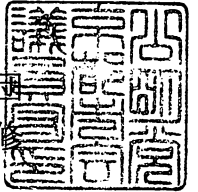
記

1. 青少年を取り巻く薬物乱用に関する早急な意識・実態調査を実施すること。
2. 全小・中・高等学校での「薬物乱用防止教室」の早期実施とともに、指導・啓発を徹底すること。
3. 学校、保護者、地域、関係機関・団体との連携ネットワークを強化し、より一層徹底した薬物乱用防止対策に取り組むこと。

平成 27 年 11 月 20 日

京都市教育長
在田 正秀 様

公明党京都市会議員団
団長 曾我 修



青少年の薬物乱用防止対策に関する緊急要望

近年、青少年による薬物のまん延が懸念される中、京都市においても小学 6 年の男児のほか、高校生による大麻をめぐる事件が相次いでいる。スマートフォンの普及で安易に薬物に近づく若者たちを取り巻く状況は憂慮すべき情勢にあり、生活環境の改善や、徹底した乱用防止教育が急務となっている。

全国的に未成年者の大麻汚染をめぐる検挙数が増加傾向にある中、本市教育委員会においては、京都市長部局及び京都府・府教育委員会・京都府警など関係機関との連携を強化し、青少年を中心に広がりを見せる薬物乱用の実態把握に努め、次の対策を講じられるよう強く要望する。

記

1. 青少年を取り巻く薬物乱用に関する早急な意識・実態調査を実施すること。
2. 全小・中・高等学校での「薬物乱用防止教室」の早期実施とともに、指導・啓発を徹底すること。
3. 学校、保護者、地域、関係機関・団体との連携ネットワークを強化し、より一層徹底した薬物乱用防止対策に取り組むこと。